

平成 28 年 2 月 17 日

## 同志社大学との共同研究契約締結のお知らせ

当社は、学校法人同志社同志社大学（以下、「同志社大学」）と角膜疾患治療薬の研究開発を目的とした共同研究契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

角膜は眼の表層にある透明な組織ですが、角膜に病気や外傷で混濁や変形が起こると重度の視覚障害を生じます。

同志社大学では、眼内の細胞増殖促進または細胞障害抑制による角膜内皮治療薬の開発に関する研究が行われており、同志社大学で得られたこれらの知見を基に、当社と角膜疾患治療薬の開発に向けた共同研究を実施いたします。具体的には、当社が提供する新薬候補化合物について、同志社大学が保有する病態モデル細胞を用い、薬効評価等を実施し、臨床試験に進められる開発品を選定してまいります。

当社は、眼科領域での新薬開発や事業開発に多くの経験とノウハウを保有しております。本共同研究における開発品の効率的な選定だけでなく、今後の臨床試験に向けた取組みについても総合的に運営することで、共同研究における成果を臨床試験へとつなげられるよう、努力してまいります。

また、本共同研究に伴い、今後、同志社大学が出願中である特許の実施権については、当社が実施許諾を受け、角膜疾患治療薬の研究開発を進めていく予定です。

重度の視覚障害を生じる角膜内皮疾患に対する治療法は角膜移植しか存在しないのが現状であり、有効な治療薬の開発が望まれています。そこで、この現状を鑑み、当社においても取り組む意義のある領域と考えております。

当社は、本共同研究を進めることにより、更なるパイプラインの拡充を図ってまいります。

以 上